

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 ヨータイ			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 597-0093 大阪府貝塚市二色中町 8 - 1		
本票作成	部署名：岡山事業所 岡山管理グループ 製造管理部						
主たる業種	分類コード	21	業種名：窯業・土石製品製造業				
事業の概要	耐火レンガの製造 令和6年度生産量 76.40 千 t (県内工場) 従業員数名 402名 (県内)						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	日生工場			備前市日生町日生 2 6 0 1		
	②	吉永工場			備前市吉永町南方 1 2 5 0		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度 (5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 11 年度)						
	26,523 t CO ₂			25,727 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (令和 6 年度) の排出量					
	①	日生工場			19,247 t CO ₂					
	②	吉永工場			7,276 t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					
					t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 日生工場、吉永工場の生産量の合計	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		347 t CO ₂ / (千t)	337 t CO ₂ / (千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

太陽光発電の増設、キルンのLNG化等を行っていく計画しており、原単位当たり排出量が大幅に低減する可能性もあるが、LNG化後の操業の不安定性や経済情勢も大きく変動する可能性もあることから、5年3%低減を必達目標に設定し計画を実行していく方針。

【目標削減率達成のための推進体制】

各工場に省エネ推進担当者を設置し、その統括として専務取締役をトップに、エネルギー関連担当者（吉永工場製造部主席）を取りまとめ役として推進。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
日生工場(令和6年度実施分)	太陽光発電パネルの増設 フォークリフト更新時にEV車両を導入（6台）
吉永工場(令和6年度実施分)	太陽光パネルの増設 水銀灯および蛍光灯をLEDに変更(267台) フォークリフトEV化(4台) 社用車としてEV車を1台購入 ドライヤー側壁に遮熱シートを施工 熱風炉1基集約操業

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
日生工場	フォークリフトのEV車両への更新 焼成炉用ファン関係の高効率モーターへの変更 受電盤の更新
吉永工場	焼成キルンを重油からLNGへ燃料転換する 太陽光発電の増設

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	有	2025年度は吉永工場で太陽光発電の増設を計画
その他	無	

【その他特記事項】

エンジニアリング事業部、技術研究所、岡山支社は日生工場内にあるため日生工場に含んでいます。